

# 「緑のダム」を考える

## ～科学者が考える森と人の関係～

森は人にとってすべて心地よく、環境にいいものなのだろうか。  
長年の研究をベースに、科学者が解き明かす森林の真の姿とは。

くらじ こういちろう

### 講師 蔵治光一郎 氏

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林 教授



1965年東京生まれ、東京大学大学院農学生命科学研究科修了。農学博士。マレーシア国サバ州森林局森林研究所、東京工業大学講師、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林准教授などを経て現職。国内外でのフィールドワーク、市民活動への協力など、幅広い活動を行っている。『森の健康診断の10年』（編著、東京大学演習林出版局）、『緑のダムの科学』（編著、築地書館）、『森の「恵み」は幻想か』（化学同人）、『「森と水」の関係を解き明かす』（全国林業改善普及協会）など著書は多数。

日時：平成31年2月17日(日) 13:30～15:30 (開場13:00)  
場所：桜美林大学 PFC (プラネット淵野辺キャンパス) P202 教室  
※JR横浜線淵野辺駅北口 徒歩1分  
(相模原市中央区淵野辺4-16-1)

参加費：500円

定員：100名

申込み方法：必要事項ご記入の上、E-mail、又はFAXにて、下記までお申込みください。  
NPO法人 かながわ森林インストラクターの会  
E-mail：k-inst0981@friend.ocn.ne.jp FAX：046-297-0302

お申し込みの際、下記内容を記載ください。

行事名(第10回森林文化講演会2月17日)、  
ご氏名(所属)、電話番号、メールアドレス

いただいた個人情報につきましては、当会が関連する情報をお送りさせていただく場合がありますが、それ以外は一切使用いたしません。

締め切り：平成31年2月10日(日)まで

主催：NPO法人 かながわ森林インストラクターの会  
後援：神奈川県、相模原市、神奈川県森林協会(支援も)、  
(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川新聞社  
協力：桜美林大学